

防災だより

吹田市
危機管理室

R1.10

第9号



自主防災組織結成



平成31年3月に、**山手地区連合自治会防災部**が結成されました。

- 9月に開催した吹田市地域防災総合訓練では、
- ①初期救助訓練（倒壊家屋内に負傷者発見）
 - ②避難所運営訓練（段ボールベッド・簡易トイレ組立）
 - ③食料供給訓練（バケツリレーによる物資搬送）
- を行い、絶妙なチームワークを発揮しました。

①



②



③



各自主防災組織に

アンケートを実施！

各組織の活動内容や活動するうえでの課題などをまとめました。

組織の役割として重要だと思うもので、一番多かった回答は、『**防災知識の普及**』でした。『**安否・被害の情報収集**』、『**避難所の運営**』も次いで多かった回答です。

まずは、一人ひとりが防災の意識を持つことで、災害時の救助や災害後の生活面で助け合うことにつながります。

10/31に開催する情報交換会で情報共有を図ります。

組織活動の課題として、最も多かった回答は、『**リーダーの育成が進んでいない**』でした。他には『**活動費や資機材の不足**』の回答もありました。

どの地域も、若い担い手がない課題を抱えています。

活動を活性化するうえで必要なものとして、『**他組織の活動事例の共有**』が最も多く、『**活動費や資機材購入費の助成**』、『**研修会・講演会の開催**』、『**活動拠点や資機材保管場所の確保**』など多くの意見がありました。なかには、地域版ホームページ作成や大阪府との連携という声もありました。



洪水時 避難訓練を実施しました！

芳野町は、神崎川と高川の合流地点に位置する低地で、外水氾濫により **2~5m 未満**の浸水が予想されています。

洪水時の避難所として**大阪府立吹田支援学校**が指定されており、**自治会**では鍵の保管や施設の解錠に関する覚書を締結しています。訓練では、学校から預かっている鍵で解錠し、体育館まで住民の避難を誘導しました。



門扉を解錠



施設を解錠

台風・豪雨に備えて

マイ・タイムライン をつくるう

マイ・タイムラインとは、河川の氾濫が起きそうなときに、余裕をもって逃げるために事前に考えておく、一人ひとりの生活に合わせたオリジナルの避難行動計画です。



↓ 市報すいた (令和元年8月号) より抜粋

家族で話し合って作成しよう

各家庭の状況に応じたマイ・タイムラインを作成し、家族で共有しておきましょう。ある家族の一例を紹介します。

我が家のマイ・タイムライン(台風版)	
台風到達まで	家族の行動
3日前	○避難場所を家族みんなで再確認しておく ○台風の強さや進路などを確認する
2日前	○自宅周りの点検(ベランダに風で飛びそうなものがないかなど) ○ハザードマップで地域の浸水被害予想を確認 ○停電などに備えた備蓄品(カセットコンロや懐中電灯など)の確認、避難を想定して非常持ち出し品(おむつやミルクなど)の確認
1日前	○おじいちゃんとおばあちゃんは事前に親戚の家へ避難する ○吹田市の災害関係情報を随時確認
数時間前 (避難情報発令) 直前直中	○残りの家族で避難する ○避難所で台風通過を待つ
避難場所: ○○小学校 TEL×××××・××××× △△町△丁目△番△号	

point

- ①早い段階で避難場所を再確認
家族全員が避難場所を知っておきましょう。
- ②避難準備、避難開始などのタイミングを決めておく
避難に時間がかかる可能性のある高齢者や障がい者などは他の人よりも早めに避難することを決めておきましょう。
- ③必要なものを用意しておく
薬やおむつ、眼鏡など、生活に必要なものを準備しておくタイミングも記入しておきましょう。



近所の方にも声掛けをし、避難を呼びかけるタイミングを盛り込んだり、地域の共助を意識するなど地域全体で取り組むことで実効性が上がります。

マイ・タイムラインを見直そう！

マイ・タイムラインは、作ったら終わりではありません。まち歩きをして、避難経路を再確認したり、近所・地域の方と相談しながら、今のご自身の生活に合わせて、見直していくことが大切です。

Step1 ハザードマップで自分の水害リスクをチェック！

まずは「知る」

自宅の周辺がどれくらい浸水するかを確認する。2m未満であれば自宅の2階以上の避難ですむかもしれませんが、それ以上となると、自分が避難する施設や安全に逃げられる道順、どのくらい時間がかかるかなどを確認しましょう。

Step2 河川が氾濫する前に備えるべき行動をチェック！

次に「考える」

川が氾濫するまでの段階をイメージし、避難するための備えを、どのような順番で準備するかを考えましょう。

Step3 マイ・タイムラインをつくってみよう♪

そして「動く」

「いつ」「誰が」「何をするか」を基本に行動などを時系列に整理して、家族で共有しておきましょう。